

作成日 2025 年 5 月 2 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5219

課題名 : 「胃癌患者における血清コリンエステラーゼの推移の臨床的意義に関する検討」

1. 研究の対象

2008 年 1 月～2014 年 12 月に当院において胃癌に対して胃切除術を施行した方

2. 研究期間

2025 年 6 月 1 日～2026 年 12 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 6 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

胃癌術後に縫合不全や肺炎などの感染性合併症を来した患者さんでは、長期にわたる絶食や入院が必要となり、栄養状態の悪化や身体機能の低下をもたらします。本研究では胃癌術後の栄養状態に着目し、栄養状態の指標となる血清コリンエステラーゼ値が胃切除後1年目にどのような値を示すかを検討し、術前値から血清コリンエステラーゼ値が低下した患者さんが低下しなかった患者さんと比較して予後にどのように関与するかを検討します。加えて感染性合併症を発症した患者さんと発症しなかった患者さんにわけ、それぞれにおいてコリンエステラーゼ値の推移が予後に与える影響を検討することを目的としました。

5. 研究方法

2008 年から 2014 年までの間に、当院で胃癌に対して胃切除術が施行され、術前および術後1年目に血清コリンエステラーゼ値が測定された方を対象といたします。術前値から1年目に低下した患者さんをコリンエステラーゼ低下群、1年目に不変もしくは増加した患者さんを対照群として、各々の癌の状況や行った手術、さらに予後を比較します。加えて感染性合併症を発症した患者さんと発症しなかった患者さんに分け、コリンエステラーゼ低下群と対照群とで予後を比較します。

したがって、さらなる検査や受診などの必要はありません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 性別や年齢などの臨床データ、コリンエステラーゼ等の臨床検査データ、病理学的データ

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独の研究です。

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は講座研究費です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院外科 矢口義久

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 2356） 電話対応時間 9 時～16 時

y-yaguchi@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部 辻本広紀